

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	愛媛コミュニケーションブライダル専門学校
設置者名	学校法人愛媛学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務関係 専門課程	コミュニケーション学科2年制	夜・通信	1,710時間	160時間	
	コミュニケーション学科1年制	夜・通信	780時間	80時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページによる公開 https://www.aigaku.jp/report/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛媛コミュニケーションブライダル専門学校
設置者名	学校法人愛媛学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページによる公開 https://www.aigaku.jp/report/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	飲食業 代表取締役会長	4年（平成29年5月25日～令和3年5月24日）	組織ガバナンスを強化するためのアドバイス等
非常勤	報道機関 代表取締役社長	4年（平成29年5月25日～令和3年5月24日）	組織コンプライアンス体制へのチェック機能等
非常勤	飲食業 オーナーシェフ	4年（平成29年5月25日～令和3年5月24日）	リスクマネジメントを強化するためのチェック機能等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛媛コミュニケーションブライダル専門学校
設置者名	学校法人愛媛学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教育課程編成委員会、評議員会及び理事会の意見や提言を踏まえ、校長、教頭、教務担当教員が会議を開き、常勤教員、非常勤講師の別、また教員の実務経験の有無に関わらず、すべての科目についてシラバスを作成している。 翌年度の計画書を8～9月上旬に作成し、必要に応じて各科目の担当教員と詳細を年度内に調整する。 公表は当該年度の4月上旬である。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページによる公開 https://www.aigaku.jp/report/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 講義、演習科目については、1年毎に前期末及び後期末試験を行って評価を数値化している。 実習科目については、期末試験においてレポートを課しているほか、インターンシップや挙式イベント、オープンキャンパスでの模擬結婚式など、実習イベント開催毎に事前計画書・事後報告書の提出によって評価を数値化している。 成績評価は、試験、レポート、計画書、報告書等のいずれも100点満点とし、90～100点をAA(秀)、80～89点をA(優)、70～79点をB(良)、60～69点をC(可)、59点以下をD(不可)の5段階を基準としている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>試験、レポート、計画書、報告書等のいずれも100点満点で評価している。90～100点をAA(秀)、80～89点をA(優)、70～79点をB(良)、60～69点をC(可)、59点以下をD(不可)の5段階を基準としている。</p> <p>校長、教頭、教務担当教員による成績認定会議で、各科目の得点結果、生徒1人ひとりの総合評点と平均点を算出し、下位4分の1に該当する者を含めて成績の分布状況を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページによる公開 https://www.aigaku.jp/report/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校は、広くたくさんの方のことを学ぶと同時に専門的な接客サービス技能を深め、物事に対する高い理解力と創造力を修得した学生に卒業を認定する。具体的には、本校に所定の期間在学し所定のカリキュラムを履修し、次のことが認められる学生に対して卒業を認定する。</p> <p>【学校訓】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、ホスピタリティ精神を持ち、社会に奉仕できる人材 一、丁寧、迅速、清潔に振る舞える人材 一、想像力を発揮し、前向きに取り組める人材 <p>【卒業要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学則に定める授業科目及び時間数を修得していること。 2. 前・後期末に行われる期末試験に合格していること。 3. 年度末に行われるブライダル実習に合格していること。 <p>【卒業判定の基準】</p> <p>出席状況並びに成績を審議する前・後期末の成績会議を経て、年度末に卒業認定会議を行い、卒業要件を満たした学生に対し校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。</p> <p>なお、2年制課程は、2年間で1,600時間以上の履修時間をもって卒業を認定する。1,700時間以上の履修時間がある場合、専門士の称号を付与する。1年制課程は、1年間で800時間以上の履修時間をもって卒業を認定する。いずれも、評価がC(可)以上の科目を履修したとみなし、不可の場合は履修時間に算入しない。これは、卒業認定会議によって裁定する。</p> <p>なお、毎年度末に開催している学園祭では、リアル・ウェディングの計画・実施を重要な「卒業制作実習」と位置付けており、特に協調性や積極性、理解力や表現力等、ホテル・ブライダル業をはじめ接客サービス業に就業するにふさわしいコミュニケーション力を評価している(事前計画書、事後報告書等による評点)。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページによる公開 https://www.aigaku.jp/report/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	愛媛コミュニケーションブライダル専門学校
設置者名	学校法人愛媛学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページに公開 https://www.aigaku.jp/report/
収支計算書又は損益計算書	ホームページに公開 https://www.aigaku.jp/report/
財産目録	ホームページに公開 https://www.aigaku.jp/report/
事業報告書	ホームページに公開 https://www.aigaku.jp/report/
監事による監査報告（書）	ホームページに公開 https://www.aigaku.jp/report/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		専門課程	コミュニケーション 学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間	495 単位時間	756 単位時間	519 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,770 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		33人	0人	5人	1人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 1年次には講義を中心に、接客サービス業界で働く上で必要な基礎的な態度、知識、技術を習得する。2年次には、演習や実習を軸に職業実践的な内容を学んで、接客サービス業界で十分に活躍できる技能を修得する。 1年次秋季の3週間のインターンシップ、毎年度末のリアルウェディングにおいて、実習の集大成として自他ともに実力の到達点を測定する。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験、レポート、計画書、報告書等の方法を用い100点満点で評価している。90～100点をAA（秀）、80～89点をA（優）、70～79点をB（良）、60～69点をC（可）、59点以下をD（不可）の5段階を基準としている。 成績認定会議で、各科目の得点結果、生徒1人ひとりの総合評点と平均点を算出し、下位4分の1に該当する者を含めて成績の分布状況を把握している。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>2年間で1,600時間以上の履修時間をもって卒業を認定する。1,700時間以上の履修時間がある場合、専門士の称号を付与する。評価がC(可)以上の科目を履修したとみなし、不可の場合は履修時間に算入しない。</p> <p>この認定は、前・後期末の成績会議を経て、年度末の卒業認定会議を行い、卒業要件を満たした学生に対し校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>春季、夏季、冬季の長期休校時に「追々試験」や補習を行い、生徒1人ひとりに十分な時間を取って苦手科目に対する克服機会を提供している。</p> <p>就職支援については、カウンセリングを毎日放課後に随時行っており、企業訪問や見学に同行するなど、安心が得られるよう日頃から対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	14人 (82.4%)	3人 (17.6%)
(主な就職、業界等) 結婚式場、ホテル、旅館、百貨店、貸衣裳店、宝飾店、化粧品店など			
(就職指導内容) 科目担当の現役ホテルマンによって業界研究やキャリアデザインを指導してもらうほか、ゲストに卒業生のウェディングプランナーを招致するなど、授業の中で説得力のある講話を提供している。また、学年全員での企業訪問を年間4回以上行い、放課後は毎日就職カウンセリングとして2名の教員が待機して、履歴書の記述指導や、面接における自己PRの訓練を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) (一社)日本ホテル・レストランサービス技能協会「レストランサービス技能検定3級(国家資格)」、(公社)日本ブライダル文化振興協会「ブライダルコーディネーター技能検定3級(国家検定)」、全米ブライダルコンサルタント協会「ブライダルプランナー検定3級・2級・1級(協会認定資格)」の取得を目指す。 また、全米ブライダルコンサルタント協会「アメリカン・ウェディングフラワーアレンジメント初級ディプロマ」、(公社)全国調理職業訓練協会「ラッピングクリエイター3級」、同「キュージーヌ&バンケットコーディネーター3級」は、それぞれ協会から認定された授業カリキュラムを実施しており、これ受講することで取得できる。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	2人	5.1%

(中途退学の主な理由) 学校内の人間関係の悪化、早期就職
(中退防止・中退者支援のための取組) 人間関係が固定化しないよう、授業科目によって席替えを行ったり、1週間に1度の学生連絡会を設けてきめ細かいヒアリング機会を設定するなど、学生の不安に寄り添い、安定した気持ちで学校生活が送れるようにしている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		専門課程	コミュニケーション 学科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	800 単位時間	366 <small>単位時間</small>	294 <small>単位時間</small>	180 <small>単位時間</small>	0 <small>単位時間</small>	0 <small>単位時間</small>
			840 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		3人	0人	5人	1人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 接客サービス業界で働く上で必要な基礎的な態度、知識、技術を、幅広く習得し、接客サービス業界で即戦力として十分に活躍できる技能を修得する。 秋季3週間のインターンシップ、毎年度末のリアルウェディングにおいて、実習の集大成として自他ともに実力の到達点を測定する。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験、レポート、計画書、報告書等の方法を用い100点満点で評価している。90～100点をAA（秀）、80～89点をA（優）、70～79点をB（良）、60～69点をC（可）、59点以下をD（不可）の5段階を基準としている。 成績認定会議で、各科目の得点結果、生徒1人ひとりの総合評点と平均点を算出し、下位4分の1に該当する者を含めて成績の分布状況を把握している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 1年制課程は、1年間で800時間時間以上の履修時間をもって卒業を認定する。評価がC（可）以上の科目を履修したとみなし、不可の場合は履修時間に算入しない。 この認定は、前・後期末の成績会議を経て、年度末の卒業認定会議を行い、卒業要件を満たした学生に対し校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。

学修支援等
(概要) 春季、夏季、冬季の長期休校時に「追々試験」や補習を行い、生徒1人ひとりに十分な時間を取って苦手科目に対する克服機会を提供している。 就職支援については、カウンセリングを毎日放課後に随時行っており、企業訪問や見学に同行するなど、安心が得られるよう日頃から対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) なし			
(就職指導内容) 科目担当の現役ホテルマンによって業界研究やキャリアデザインを指導してもらうほか、ゲストに卒業生のウェディングプランナーを招致するなど、授業の中で説得力のある講話を提供している。また、学年全員での企業訪問を年間4回以上行い、放課後は毎日就職カウンセリングとして2名の教員が待機して、履歴書の記述指導や、面接における自己PRの訓練を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) (公社)日本ブライダル文化振興協会「ブライダルコーディネーター技能検定3級(国家検定)」、全米ブライダルコンサルタント協会「ブライダルプランナー検定3級(協会認定資格)」の取得を目指す。 また、全米ブライダルコンサルタント協会「アメリカン・ウェディングフラワーアレンジメント初級ディプロマ」、(公社)全国調理職業訓練協会「ラッピングクリエイター3級」、同「キュージーヌ&バンケットコーディネーター3級」は、それぞれ協会から認定された授業カリキュラムを実施しており、これ受講することで取得できる。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
コミュニケーション 学科 (2年制)	100,000 円	500,000 円	530,000～ 650,000 円	学則上、演習費等 に幅がある
コミュニケーション 学科 (1年制)	100,000 円	500,000 円	550,000～ 690,000 円	学則上、演習費等 に幅がある
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.aigaku.jp/report/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 社会に対する説明責任を果たしていく観点から、学校関係者評価を実施し公表する。学校運営、教育課程や進路指導を、学修成果、就職成果、入学募集成果を元に評価する。学校関係者評価委員会は、業界団体、関連企業、地域団体等から 5～7 人程度で構成し、任期は 2 年とする。 評価結果は、ただちに教育課程編成委員会に報告され、委員長である校長のもとで改善方を議論する。そして、この内容は職員会議の議題として取り上げる。また、評価内容共有のため、年に 2 回開催される定例の評議員会と理事会にも報告される。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
道後温泉旅館協同組合理事長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	業界団体の役職員
愛媛県調理師会会長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	業界団体の役職員
有限会社イヨタ代表取締役	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	知見を有する企業や 関係施設の役職員
松山全日空ホテル セールス支配人	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	知見を有する企業や 関係施設の役職員
唐人町二丁目東町内会役員	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	町内会役員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.aigaku.jp/report/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.aigaku.jp/report/
--